

消防

春は空気が乾燥します

火の取扱いには充分に注意を!!

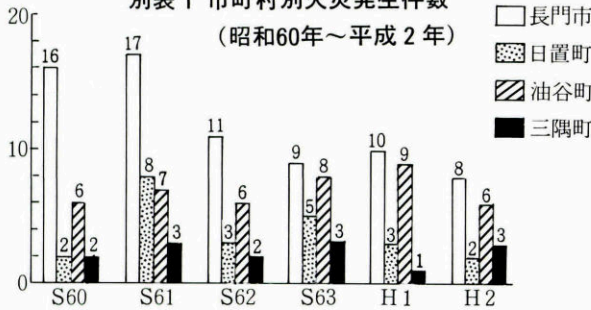
平成四年二月末日まで、本町では四三〇日を超える無火災記録を更新中です。昭和二十六年三月二十六日、新しく消防法に基づく消防団を設置以来の最長記録です。

ところで、昨年九月に発生した台風十七、十九号では全国各地で多大の被害を及ぼしました。本町でも、農業施設、

道路関係を中心に三億五千万円もの被害が出ました。幸いなことに、死傷者はなく、被害程度も、最少限度にとどめることができました。

さて、昭和四十八年長門地区消防発足以来、本町で発生した火災の実態を、長門管内の他市町と比較しながら、お知らせしたいと思います。

別表1 市町村別火災発生件数
(昭和60年～平成2年)



(1) 火災の概況

昭和四十八年以來、本町で発生した火災件数は七三件、内建物三九件、林野二七件、その他七件となっています。別表一を御覧ください。近年(昭和六十年から平成二年)発生した火災合計は長門市七一件、日置町二三件、油谷町四二件、三隅町一四件となっています。本町の火災の内建物火災は、半分の七件です。

(2) 死者数
昭和四十八年以來、管内の火災による死者は八名で、内本町では一名の方が亡くなられています。

ところで、昨年一年間県内

で二十五名の死者がでています。

(3) 損害額

昭和四十八年からの本町における火災による損害額は、八、八三六万円です。

(4) 出火原因

昭和四十八年からの出火原因で一位から四位までを次のうちから多い順に考えてみてください。

- たばこの不始末
- たき火の不始末
- 風呂、かまどの煙突
- 火入れの火

以上、答はページの最後にあります。

なお、五位以下は、てんぷら油のかけ忘れ、風呂たき口



の不始末、放火などとなっています。現在無火災記録が続いています。

すが、火災というものは、いついかなる場所でもいかなる原因で発生するか、まったく予想できないものです。町民一人ひとりの常日頃からの防火意識の高揚があつてこそ、この記録も更に更新されるでしょう。

これから、春にむけ陽気もよくなり、心も体もゆるみがちになります。ただし、防火意識だけは、今後ともゆるめることのないようお互いに気を引き締めてゆきましょう。

山火事予防 運動月間

3月1日 ▶ 3月31日

この運動は、広く県民に山火事予防思想の普及啓発を図るものです。

* 普及啓発対象者

- ドライバー、ハイカー等
- 山林始業に従事する方
- 学童、その他一般住民

* 重点事項

- タバコの吸殻は完全に消す
- タバコ、マッチの投げ捨ては絶対にしない
- たき火の消火を完全にする
- 強風、乾燥時に枯れ草等危険な場所での火入れはせず
- 火入れの際は必ず許可を受けること

順位	項目	件数
1位	たき火の不始末	13件
2位	たばこの不始末	11件
3位	火入れの火	10件
4位	風呂かまどの煙突	5件